

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	上宮田地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 藤平 智

再生委員会の 構成員	上宮田漁業協同組合、三浦市
オブザーバー	神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>範囲：北下浦漁港上宮田地区 漁業の種類（兼業を含む）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型底びき網漁業 8経営体 ・ 刺網漁業 10経営体 ・ 大型定置網漁業 2経営体 ・ 小型定置網漁業 1経営体 ・ 採貝・採藻漁業 1経営体 ・ その他の漁業 3経営体 ・ こんぶ類養殖業 7経営体 ・ わかめ類養殖業 9経営体 ・ みづき漁 1経営体 ・ たこつぼ漁 3経営体
-------------------	---

※策定時点で対象となる漁業者数も記載すること。

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

本地域は、刺網漁、定置網漁、たこ壺漁等の漁業を行っている。全国的に有名な三浦海岸海水浴場を有し、海洋レクリエーションの場として多数の来遊客が訪れることで都市との交流が図られており、地元経済の発展に潜在的な可能性を有している。

近年、中国向けナマコの高騰を背景にナマコ漁に取り組んでいたが、急激なナマコ資源の減少等が生じ、現在、休漁等による資源回復に取り組んでいる。また、これまでも地元特産品等の直売会（青年部による「わいわい市」）への参加やわかめの袋販売など六次産業化にも一部取り組んできたところであるが、抜本的な水産業の活性化策になっていないのが現状である。

本地域漁業の人的環境については、正組合員30名余で漁業に取り組んでいるが、組合員の高齢化が進み、組合の存続が危機的状況にある。利用環境については、漁港敷地内に、平成20年度に閉鎖したヒラメ養殖施設の跡地が未利用のまま残っており、この跡地の利活用を含めた地域漁業の活性化が期待されている。

このため、地域水産業の自立に向けて、地域資源を活かした漁業種の多様化をはじめとした持続的な漁業の展開方策や、海洋レクリエーションと連携した水産業の活性化策の検討に取り組むことが急務となっている。

(2) その他の関連する現状等

本地域は、三浦市総合計画において地域交流ゾーンとして位置づけられており、交流機能の充実を図ることとされている。重点的な取組みとして、海に開けたにぎわいの街ゾーンとして、都市核（三浦海岸）の拠点機能、海岸の景観などを活かし、交流人口受入の玄関口であるにぎわいの商業ゾーンとして活気ある街を形成していくこととされている。浜の活力再生に向けては、このような市としてのまちづくりの方向性を踏まえて取り組む。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

1 資源管理の取組み

(1) ナマコ資源の増大に向けた取組み

漁業の根幹である地先資源の管理の一環として、特に高値で売れるナマコをターゲットとして資源増大に向けた取組みを検討する。ナマコ漁に関しては、資源の減少が見られるため現在休漁中である。今後、資源の回復と増大を図ることを目指して、神奈川県水産技術センターと連携した取組みを進める。

(2) 二枚貝資源の増大に向けた取組み

本地区では、過去、ハマグリ・アオヤギ・トリガイ等の二枚貝の漁獲実績が良好であった。現在では、取り立てて顕著な漁獲実績は無いが、本地区の漁場環境としては二枚貝への適性を有していると考えられる。そこで、今後の漁業所得の安定と向上に向けて、新たな漁獲対象として二枚貝をターゲットに、神奈川県水産技術センターと連携して資源増大の取組みを進める。

2 出荷の見直しによる販売収入（実収入）向上の取組み

平成30年度に市内の三崎水産物地方卸売市場の高度衛生管理化が完了する見通しであり、高度衛生管理化された市場での取引魚価の向上が見込まれている。今後、漁業者の所得向上を図る上で戦略的な出荷体制の確立が不可欠であり、三崎水産物地方卸売市場の高度衛生管理化による取引魚価の変化を見据えながら、当該市場への出荷の拡大等、販路の見直しを進める。

3 観光レジャーとの連携と直売事業による地産地消の展開

(1) 観光レジャーとの連携

上宮田地区は三浦海岸に位置しており海洋レジャー等を楽しむ来遊客が多数訪れる地理的な強みを有している。この強みを活かして水産業と観光レジャーとの連携調和を図り、後述する直売事業の展開を促進させるため、ヒラメ養殖場跡地の活用方策の1つとして、海洋レジャーに供するエリアの整備（艇庫、駐車場）を進める。

(2) 直売事業による地産地消の展開

上述(1)の観光レジャーとの連携と併せて、ヒラメ養殖場跡地を直売所用地として活用する。直売は早朝の時間帯に開催する朝市が一般的であるが、本地区では観光客の来訪する時間帯に合わせた昼市又は夕市の開催に向けて取り組む。

4 ICTを活用した情報発信による誘客数増大の取組み

上述3の取組効果をより大きく得るためには、来遊客数の増大が課題である。この課題に対し、広報活動として、ICTを活用した情報発信を行う。観光客を主なターゲットとして、上宮田地区の漁業、直売イベントに関する情報を中心に発信し、誘客数の増大を図る。

5 船揚場における漂砂堆積への対応の検討

本地区漁業者が利用する北下浦漁港（上宮田地区）の船揚場は、三浦海岸の砂浜上に位置しており、漂砂の堆積が出漁時に支障をきたしている。隣接する北下浦漁港（長沢地区）における、横須賀市による防波堤延長整備が進行中であることから、当該整備の進捗による漂砂堆積状況の変化を注視しつつ、対応について検討する。

6 燃油使用料削減の取組み

漁業コスト削減のため、上宮田漁業協同組合と漁業者とが連携し、例えば船底やプロペラ等の清掃、機器設備メンテナンス及び出漁、帰港時の減速省エネ航行等の実施による燃油使用料の削減に向けて、取組内容や取組回数等の詳細を検討し、取り組む。

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

- ・神奈川県海面漁業調整規則に基づき採捕制限を徹底し、水産資源の適切な管理を行う。
- ・自主的資源管理措置として、ナマコについて平成25年度から平成27年度まで休漁期間とし、資源保護に取り組む。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）
1年目（平成26年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【数値目標：－（1年目は調整、検討のため数値目標なし）】</p> <p>1 資源管理の取組み</p> <p>(1) 地先ナマコ資源の増大に向けた取組み ・上宮田漁業協同組合は、神奈川県水産技術センターと連携し、ナマコ資源の増加に関する取組事例について情報収集する。また、国内における取引価格や国産ナマコの主要輸出先である中国市場の動向等、ナマコ出荷に関連する情報についても収集し、今後目指すナマコの品質等について、検討する。資源回復のため休漁措置については、ナマコ資源量の回復状況を見極めつつ、休漁措置を継続する。（平成28年度からの漁の再開を目指す。）</p> <p>(2) 二枚貝資源の増大に向けた取組み ・上宮田漁業協同組合は、神奈川県水産技術センターと連携し、二枚貝資源の増加に関する取組事例について情報収集する。現在、当地区ではハマグリ等の二枚貝の漁獲は行っていないが、漁場環境としては二枚貝の増産に適していると考えられることから、漁業所得の増加を目指し、他地区での取組事例等を参考に、次年度以降本地区において試験的に取り組むものを検討する。</p> <p>2 出荷の見直しによる販売収入（実収入）向上の取組み ・上宮田漁業協同組合は、現在は、三崎水産物地方卸売市場や近隣市の市場を主な出荷先としているが、今後、より戦略的な出荷を行い販売収入（実収入）の向上を図るための対策を検討するため、現在の出荷について、販売収入（実収入）を意識した現状把握に努める。漁獲（出荷）量、出荷先、魚種及び出荷形態等による取引価格の変動と、出荷先による出荷コストを勘案し、現状における課題の抽出を行う。</p> <p>3 観光レジャーとの連携と直売事業による地産地消の展開 ・上宮田漁業協同組合は、市と連携して、遊休漁港用地（ヒラメ養殖跡地）について、海洋レジャーに供するエリアの集約整理のための用地及び昼市又は夕市開催のための直売所用地として活用する具体案について検討する。</p> <p>4 ICTを活用した情報発信による誘客数増大の取組み ・上宮田漁業協同組合は、販路の拡大及び誘客数の増大を図ることを目的として、市と連携して、ICTを活用した情報発信について、他地区における先進事例を情報収集する。</p> <p>5 船揚場における漂砂堆積への対応の検討 ・上宮田漁業協同組合及び市は、漂砂の供給側の海岸で行われている横須賀市の侵食対策事業による漁港への漂砂堆積状況を把握するとともに、その状況を踏まえた漂砂対応について検討を行う。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【数値目標：－（1年目は調整、検討のため数値目標なし）】</p> <p>・上宮田漁業協同組合は、漁業者と連携し、船底やプロペラ等の清掃、機器設備メンテナンス及び出漁、帰港時の減速省エネ航行等の実施による燃油使用料の削減に向けて、他地区での取組みを情報収集する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p></p>

2年目（平成27年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【数値目標：－（2年目は検討、準備のため数値目標なし）】</p> <p>1 資源管理の取組み</p> <p>(1) 地先ナマコ資源の増大に向けた取組み ・上宮田漁業協同組合は、神奈川県水産技術センターと連携し、ナマコ資源の増加に関する取組みを検討する。地区における資源回復の状況を把握し、必要に応じて休漁措置を継続する。また、1年目での情報収集等の結果を踏まえて、例えば試験的に小規模なナマコ魚礁を設置してナマコ資源量の変化を調べるなど、積極的な資源増大の手法について、試験的な取組みから実施する。</p> <p>(2) 二枚貝資源の増大に向けた取組み ・上宮田漁業協同組合は、神奈川県水産技術センターと連携し、二枚貝資源の増加に関する取組みを検討する。1年目の検討内容を踏まえ、例えば漁場に小規模な区画を設けて二枚貝種苗を移植し成育状況を検証するなど、積極的な資源増大の手法について、試験的な取組みを実施する。</p> <p>2 出荷の見直しによる販売収入（実収入）向上の取組み ・上宮田漁業協同組合は、1年目に引き続き出荷の現状把握に取り組みつつ、現状の出荷先以外での取引価格や出荷コスト等を調査し出荷メリットについても検討する。その上で、今後の高度衛生管理型の三崎水産物地方卸売市場（平成30年度高度衛生管理工事施行完了予定）の状況等を勘案しながら、本地区としてどのような出荷先・出荷形態がよいか、出荷改善策について検討する。</p> <p>3 観光レジャーとの連携と直売事業による地産地消の展開 ・上宮田漁業協同組合は、1年目に引き続き、市と連携して、遊休漁港用地（ヒラメ養殖跡地）について、海洋レジャーに供するエリアの集約整理のための用地及び昼市又は夕市開催のための直売所用地として活用する具体案について検討する。</p> <p>4 ICTを活用した情報発信による誘客数増大の取組み ・上宮田漁業協同組合は、1年目の情報収集を踏まえて、市と連携して、ICTを活用した情報発信の手段について、ホームページ、twitter、Facebook等の中から、持続可能かつ効果的な方法を検討し、試行する。</p> <p>5 船揚場における漂砂堆積への対応の検討 ・上宮田漁業協同組合及び市は、漂砂の供給側の海岸で行われている横須賀市の侵食対策事業による漁港への漂砂堆積状況を把握するとともに、その状況を踏まえた漂砂対応について検討を行う。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【数値目標：基準年コストより2.0%減】</p> <p>・上宮田漁業協同組合及び漁業者は、1年目での情報収集を参考に、本地区での燃油使用料の削減に向けた具体的な取組内容、取組回数等を検討する。漁業者は、検討内容に基づき、例えば船底やプロペラ等の清掃、機器設備メンテナンス及び出漁、帰港時の減速省エネ航行等に取り組む。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	

3年目（平成28年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【数値目標：基準年より1.5%増】</p> <p>1 資源管理の取組み</p> <p>(1) 地先ナマコ資源の増大に向けた取組み</p> <p>・上宮田漁業協同組合は、神奈川県水産技術センターと連携し、ナマコ資源の増加に関する取組みを検討する。地区における資源回復の状況を把握し、必要に応じて休漁措置の継続又は漁の再開を行う。また、2年目での試験的な取組みの結果を踏まえて、必要に応じて継続又は別の手法を試験的に取り組み、積極的な資源増大の手法について検討する。</p> <p>(2) 二枚貝資源の増大に向けた取組み</p> <p>・上宮田漁業協同組合は、神奈川県水産技術センターと連携し、二枚貝資源の増加に関する取組みを検討する。2年目での試験的な取組みの結果を踏まえて、必要に応じて継続又は別の手法を試験的に取り組み、積極的な資源増大の手法について検討する。</p> <p>2 出荷の見直しによる販売収入（実収入）向上の取組み</p> <p>・上宮田漁業協同組合は、2年目に引き続き、今後の高度衛生管理型の三崎水産物地方卸売市場（平成30年度高度衛生管理工事施行完了予定）の状況等を勘案しながら、本地区としてどのような出荷先・出荷形態がよいか、出荷改善策について具体的検討を進める。また、検討した改善策について試行する。</p> <p>3 観光レジャーとの連携と直売事業による地産地消の展開</p> <p>・上宮田漁業協同組合は、市と連携して、1～2年目で検討した活用策の実現のため、漁港用地の有効活用等について漁港管理者と協議の上、必要な手続きを進める。</p> <p>・上宮田漁業協同組合は、活用策に資する取組みを進める。</p> <p>4 ICTを活用した情報発信による誘客数増大の取組み</p> <p>・上宮田漁業協同組合は、2年目の検討結果を踏まえて、市と連携して、ICTを活用した情報発信に取り組む。</p> <p>5 船揚場における漂砂堆積への対応の検討</p> <p>・上宮田漁業協同組合及び市は、漂砂の供給側の海岸で行われている横須賀市の侵食対策事業による漁港への漂砂堆積状況を把握するとともに、その状況を踏まえた漂砂対応について検討を行う。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【数値目標：基準年コストより2.0%減】</p> <p>・漁業者は、2年目に検討した内容に基づき、引き続き、船底やプロペラ等の清掃、機器設備メンテナンス及び出漁、帰港時の減速省エネ航行等に取り組む。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p></p>

4年目（平成29年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【数値目標：基準年より3.0%増】</p> <p>1 資源管理の取組み</p> <p>(1) 地先ナマコ資源の増大に向けた取組み ・上宮田漁業協同組合は、神奈川県水産技術センターと連携し、ナマコ資源の増加に関する取組みを検討する。地区における資源回復の状況を把握し、必要に応じて休漁措置の継続又は漁の再開を行う。また、3年目までの試験的な取組みの結果を踏まえて、積極的な資源増大のための本格的な取組みに移行する。</p> <p>(2) 二枚貝資源の増大に向けた取組み ・上宮田漁業協同組合は、神奈川県水産技術センターと連携し、二枚貝資源の増加に関する取組みを検討する。3年目までの試験的な取組みの結果を踏まえて、二枚貝資源の増加のための本格的な取組みに移行する。</p> <p>2 出荷の見直しによる販売収入（実収入）向上の取組み ・上宮田漁業協同組合は、3年目に引き続き、今後の高度衛生管理型の三崎水産物地方卸売市場（平成30年度高度衛生管理工事施行完了予定）の状況等を勘案しながら、出荷改善策について試行、修正する。</p> <p>3 観光レジャーとの連携と直売事業による地産地消の展開 ・上宮田漁業協同組合は、漁港用地を活用した海洋レクリエーションとの連携事業及び昼市又は夕市の直売事業を開始する。</p> <p>4 ICTを活用した情報発信による誘客数増大の取組み ・上宮田漁業協同組合は、3年目に引き続き、ICTを活用した情報発信に取り組む。</p> <p>5 船揚場における漂砂堆積への対応の検討 ・上宮田漁業協同組合及び市は、漂砂の供給側の海岸で行われている横須賀市の侵食対策事業による漁港への漂砂堆積状況を把握するとともに、その状況を踏まえた漂砂対応について検討を行う。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【数値目標：基準年コストより2.0%減】</p> <p>・漁業者は、2年目に検討した内容に基づき、引き続き、船底やプロペラ等の清掃、機器設備メンテナンス及び出漁、帰港時の減速省エネ航行等に取り組む。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p></p>

5年目（平成30年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【数値目標：基準年より4.1%増】</p> <p>1 資源管理の取組み</p> <p>(1) 地先ナマコ資源の増大に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上宮田漁業協同組合は、神奈川県水産技術センターと連携し、ナマコ資源の増加に関する取組みを検討する。地区における資源回復の状況を把握し、必要に応じて休漁措置の継続又は漁の再開を行う。また、4年目までの取組結果を踏まえて、積極的な資源増大のための本格的な取組みを進める。 <p>(2) 二枚貝資源の増大に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上宮田漁業協同組合は、神奈川県水産技術センターと連携し、二枚貝資源の増加に関する取組みを検討する。4年目までの取組みの結果を踏まえて、二枚貝資源の増加のための本格的な取組みを進める。 <p>2 出荷の見直しによる販売収入（実収入）向上の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上宮田漁業協同組合は、4年目に引き続き、改善策を進める。 ・漁業者は、販売魚価の向上が見込まれる三崎水産物地方卸売市場（平成30年度高度衛生管理工事施行完了予定）への出荷の拡大を含めて、販売収入（実収入）の向上を図る。 <p>3 観光レジャーとの連携と直売事業による地産地消の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上宮田漁業協同組合は、4年目に引き続き、漁港用地を活用した海洋レクリエーションとの連携事業及び昼市又は夕市の直売事業に取り組む。 <p>4 ICTを活用した情報発信による誘客数増大の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上宮田漁業協同組合は、4年目に引き続き、ICTを活用した情報発信に取り組む。 <p>5 船揚場における漂砂堆積への対応の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上宮田漁業協同組合及び市は、漂砂の供給側の海岸で行われている横須賀市の侵食対策事業による漁港への漂砂堆積状況を把握するとともに、その状況を踏まえた漂砂対応について検討を行う。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【数値目標：基準年コストより2.0%減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、2年目に検討した内容に基づき、引き続き、船底やプロペラ等の清掃、機器設備メンテナンス及び出漁、帰港時の減速省エネ航行等に取り組む。
<p>活用する支援措置等</p>	

(4) 関係機関との連携

<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県水産技術センターと連携し、資源回復、増大に努める。
--

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上 %以上	基準年	平成 年度 : 漁業所得	千円
	目標年	平成 年度 : 漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
未定	